

12/4(月)生と性の教育講演会

ゆたか助産院の吉田みち代氏をお招きして、生命誕生とその尊さ、思春期に成長する男女の体のつくりの違いなどをお話していただきました。また実際に立ち会って助産をしたときの経験談など、普段聞くことのできない貴重な内容もあり、親のありがたさとともに自分自身がかけがえのない1人であることを再認識することができました。



子どもたちの感想

- ・生と性の講演会ではやっぱり愛することと愛されることが大切だとわかりました。僕も子供ができれば愛することだけじゃダメなので愛されるような大人になりたいと思いました。
- ・男性と女性でそれぞれ体のつくりが違うとわかった。
- ・生理のことについてもわかりました。
- ・自分が自分で生まれる確率が低いことや自分をどのように考えればいいのかなどがわかった。
- ・それぞれのことを尊重し合うことが大切だと思いました。痛い思いをして赤ちゃんを産むお母さんはすごいなと思いました。
- ・私はお母さんから生まれる確率がとても低いことがわかりました。なので家族に感謝して自分も大切にしていきたいなと思いました。
- ・生理が来たときに体を冷やさないようにすると良いということがわかりました。
- ・子供を生むとき痛いけどあかちゃんも最初の呼吸を頑張っていることがわかりました。
- ・性に関することが自分にあっても決して恥ずかしくないことがわかった。
- ・将来の子供ができたときにためになるお話でした。
- ・私達が今いるのは35億個の中の一つの命なんだなと思いました。



- ・女の子の体の作りはなんとなくわかっていただけ、男の子の体の作りはあんまりわかっていなかったのので、今日知ることができて良かったです。
- ・赤ちゃんが生まれたときの親の気持ちがよくわかりました。
- ・自分のことと相手のことをちゃんと理解できるようにしたい。
- ・自分を大切にしようと思いました
- ・人には、自分の性別がわからない人もいれば、同性が好きな人、異性が好きな人、どちらも好きではない人など、ジェンダーレスの人々がいる人がいるとわかりました。
- ・今はちょっと気持ち悪く思うけどこれからは大切なことだとわかった。
- ・思春期に入りこれから体に色々な変化が訪れるのだろうなと思った。
- ・命は大切にしないといけない。
- ・「せい」には性と生の2つの意味があることがわかりました。生きるのに大切なものがあることがわかりました。
- ・私も帝王切開でうまれました。産んでくれたお母さんに感謝したいと思います。
- ・赤ちゃんが生まれてくるときはどんな感じで生まれてくるのかとかその時のお母さんはどんな感じだったのかを教えてもらってお母さんはすごいなと思いました。
- ・嫌なことは嫌だと自分のために友達でも言いたいです。
- ・男女でそれぞれ成長が違って一人ひとりの成長の速度も違うことがわかりました。
- ・今日の生と性の講演会に参加してみて嫌やと思ったことははっきりと嫌やなどと言った方がいいと分かったし自分も相手から許可を得ないとしたらだめとわかりました。
- ・今生きていることが奇跡で、自分の命に責任を持たないといけない。
- ・月経のときにどうすればいいか学べたのでよかったです
- ・男性と女性の体や赤ちゃんのことがわかったので良かったです。
- ・自分が大人になって、自分のお嫁さんが赤ちゃんを生みそうときや生んだときの対処法や自分にできることなどを教わってためになりました。
- ・出産するときはすごく痛いけど、赤ちゃんを見たら嬉しくて涙が出てくることもあることがわかりました。
- ・子供を産んだ母親はすごく痛い思いをしていたのに生まれたら笑顔になっているのがすごいと思いました。

一人一人がかけがえのない存在

